

## 講演①

# 将来の暑さが学校活動やスポーツに与える影響とその備え

大山 剛弘

## 講演概要

気候変動により、日本の暑さは今後さらに厳しくなると考えられています。学校での授業や行事、また部活動をはじめとするスポーツ活動は、若い世代にとって大切な経験の場ですが、暑さによる健康へのリスクが高まっています。本講演では、将来の暑さが学校活動やスポーツにどのような影響を与えるのかという予測結果を紹介しながら、活動スケジュールの見直し、地域や場所の変更など、これまでの「当たり前」にとらわれずに、必要となる備えについて考えます。

## 講演者略歴



### 高校生の頃の自分への、 環境問題を自分ごと化するためのアドバイス

どんな環境（天気、気温、湿度…）の中で、  
自分や周りの人たちの調子が良いか、  
日々観察してみよう！

### 大山 剛弘 (おおやま たかひろ)

気候変動適応センター 気候変動適応戦略研究室/研究員

早稲田大学創造理工学部社会環境工学科を卒業後、高潮に関する研究に取り組み、同大学大学院創造理工学研究科建設工学専攻を修了。株式会社三菱総合研究所で気候変動や防災に関する調査研究に従事する傍ら、東京大学大学院新領域創成科学研究科環境システム学専攻で博士号（環境学）を取得。2023年10月に国立環境研究所に入所。現在は、気候変動が人々の暮らしに及ぼす影響に関心を持ち、特に気候変動下の暑熱環境に着目した研究に従事。専門は生気象学。愛知県出身。